

議会
だより

ふくしま

第150号

令和8年6月1日発行
福島町議会

(題字：吉岡書道愛好会)

予算審査特別委員会

議員は予算の
ココに注目!!



今号のポイント

- ✓ 町の“いま”と“これから”（一般質問） 2ページ
- ✓ 議会に対する町の声（町民と議員との懇談会結果） 18ページ
- ✓ 議員は何に注目してる？（議員の目標・自己評価） 24ページ

議会HP



意見質問
フォーム

こちらの二次
元バーコード
はご利用いた
だけません

令和8年度 新年度予算を原案可決

定例会3月会議は3月10日に開会、町長・教育長から、令和8年度の執行方針が示された後、議案28件、報告1件、同意2件、発委2件を審議し、いずれも原案通り可決、12日に休会しました。参加者は11名でした。(内、夜間議会10名)

※予算審査の内容は予算審査特別委員会のページに掲載しています。

町議会定例会
3月会議

詳しい資料はこちら



条例の改正

ふるさと暮らし応援条例の一部改正

人件費、燃料費などの物価高騰の影響による住宅建設費上昇に対する負担軽減を図るため。

非常勤特別職の報酬・費用弁償条例の一部改正

地域農政総合対策推進協議会条例・林業振興協議会条例を廃止したため。

特別職員給与条例の一部改正

特別職の給与を改定するため。

| 区分 | 変更前 | 変更後 |
|-----|------|------|
| 町長 | 72万円 | 80万円 |
| 副町長 | 60万円 | 65万円 |
| 教育長 | 56万円 | 60万円 |

職員給与条例の一部改正

人事院勧告により通勤手当の距離区分が新たに設定されたため。

国民健康保険条例の一部改正

北海道より令和12年度の全道統一保険料の導入を見据えた改正により、令和8年度の標準保険料が示されたため。

墓地設置・管理条例の一部改正

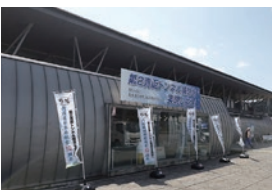
専称寺解体により墓地の寄付があり、町有墓地に追加が生じたため。

・横綱千代の山・千代の富士記念館条例の一部改正
・青函トンネル記念館条例の一部改正

個人・団体の入館料を増額(100円)するため。



横綱記念館



トンネル記念館

条例の廃止

・地域農政総合対策推進協議会条例
・林業振興協議会条例

当初の目的に対する役割を終えたため。

計画変更

第6次福島町総合計画の変更

事業の追加や変更により、計画の一部を変更(新規4件、変更42件)。

単位：千円

| 区分 | 金額 |
|-----|-----------|
| 変更前 | 5,675,600 |
| 変更 | ▲245,500 |
| 変更後 | 5,430,100 |

過疎地域持続的発展市町村計画の変更

現行計画が令和7年度をもって終了するため、計画期間および取り組み内容の時点修正などを行った。
【新たな計画期間】令和8年度～令和12年度

単位：千円

| 会 計 名 | 補正額 | 補正後 |
|----------------------|-----------|-----------|
| 一 般 会 計 (第12号) | ▲ 183,791 | 5,002,003 |
| 国民健康保険特別会計 (第4号) | ▲ 48,989 | 640,943 |
| 介護保険特別会計 (第4号) | ▲ 11,608 | 538,193 |
| 後期高齢者医療特別会計 (第3号) | ▲ 566 | 86,840 |
| 国民健康保険診療所特別会計 (第3号) | ▲ 11,000 | 116,842 |
| 水道事業会計－収益的支出－ (第1号) | ▲ 2,267 | 106,612 |
| 水道事業会計－資本的支出－ (第1号) | ▲ 17,322 | 80,714 |
| 浄化槽事業会計－収益的支出－ (第3号) | 4,276 | 46,079 |
| 浄化槽事業会計－資本的支出－ (第3号) | ▲ 10,680 | 24,947 |

不用となった予算の減額等
を行い、次の通り補正。

補正予算

指定管理

道の駅について、指定管理者を指定した。
〔道の駅「横綱の里ふくしま」
(道の駅)〕

福島町字福島820番地
一般社団法人
福島町まちづくり工房
代表理事 平野 松寿

〔指定の期間〕
令和8年4月1日～
令和13年3月31日まで

同意

監査委員の選任

・高田重美氏

固定資産評価審査委員会
員の選任

・飯田富雄氏

報告

新型インフルエンザ等対策
行動計画の改定

国、北海道の計画改定を踏
まえ、感染症危機対応につい
て改定を行った。

議会からの提出議案

議会基本条例諮問会議条例
の一部改正

議会モニターに関連した業
務を明確にし、わかりやすい
条文にするため。



夜間議会では、高校生も含め多くの町民が議論に注目。

議会議員歳費・費用弁償条
例の一部改正

町長の給与改定に伴い、こ
れを基準として算定している
議員報酬も増額となるため。

単位：円

| | 現 行 | | 改正後 | 増減 |
|-----------|-------------|---------|---------|--------|
| | 計 算 式 | 歳費月額 | | |
| 議 長 | 議員の歳費×1.49 | 321,000 | 357,000 | 36,000 |
| 副 議 長 | 議員の歳費×1.19 | 257,000 | 285,000 | 28,000 |
| 常 任 委 員 長 | 議員の歳費×1.08 | 233,000 | 259,000 | 26,000 |
| 議会運営委員長 | 議員の歳費×1.08 | 233,000 | 259,000 | 26,000 |
| 議 員 | 町長の給与月額×0.3 | 216,000 | 240,000 | 24,000 |

*町長の給与月額：変更前72万円→変更後80万円

一般質問



【一般質問】町の色々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。



藤山 大議員

自然災害の激甚化に対し、人命を守るだけでなく、災害後も自治体機能を迅速に復元する回復力強化が求められています。

昨年の地震では、夜中にニュータウン、メモリアルパークなど高いところに避難する人が多く、懇談会でも防災に関する多くの要望を受けました。

- ① **防災インフラの重要性と回復力強化**について、現状認識と将来展望を伺います。
- ② **ニュータウン方面の道路整備**（福島月崎幹線橋～観音橋3号橋）や、**観音橋3号橋拡張**について見解を伺います。

動画は
こちら



防災

問

防災力と回復力の強化を

答

防災意識向上と
基盤整備を進める

鳴海町長

- ① 津波避難対策計画を策定、避難方法や避難施設での生活環境の充実を進める。

「自分の身は自分で守る」習慣づけと、防災意識の高揚・地域と連携した避難訓練を重視する。

道道改良や福島川護岸改修を北海道と進め、町単独の防災対策事業も計画する。

- ② ニュータウン方面の渋滞は、道路形状も一因だが、避難車両の集中が主な原因と捉えており、避難先の分散で渋滞緩和を図る。

道路整備・橋梁拡張は多額の経費がかかるため、早期対応は厳しい。 災害時のインフラ復旧は被災者支援とともに取り組む。



熊野 茂夫議員

昨年の津波警報・注意報で日中・夜間に避難が生じ、津波一次避難の課題が見えました。計画改定や懇談会の声も踏まえ、短時間での避難行動の実効性を高める必要があります。

一時避難の意識醸成と、徒歩・車に対応した避難路確保が重要と考えますが、今後の避難路確保に対する町長の考えを伺います。

動画は
こちら



防災

問

避難路確保と意識醸成を

答

訓練と啓発で迅速な避難へ

鳴海町長

- ・ 災害時はいち早く逃げる行動が重要で、**日常の訓練等による意識づけが大切。** 町内会と協議し、徒歩を基本としつつ車避難も推奨する地区別避難経路を整理する。
- ・ 最短避難ルートの確認など普段からの備えが重要で、**避難場所・経路の周知啓発と防災訓練を町内会と進める。**
- ・ 避難路は既存道路活用を基本に、制度活用や地域の声を踏まえ、新たな整備も含め生命財産を守ることを第一優先に努める。

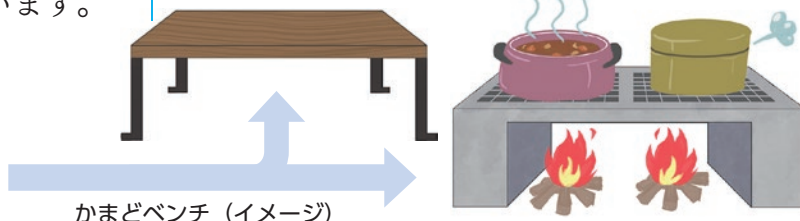


木村 隆議員

旧吉岡温泉は令和9年度に解体し、跡地に防災広場を整備するとされています。

過去に開催された委員会の中でキャンプ場の整備ということで取り上げられており、他市町の防災広場を調べてみると、様々なアクティビティが整備されている。

温泉との連動で集客を目的とするのではなく、ランニングコストを抑えた整備が望ましいと考えるが、どのような防災広場の整備を考えているのか方向性を伺います。



動画はこちら



防災

問

旧吉岡温泉の跡地利用の方向性は

答

機能を絞った防災広場を整備

鳴海町長

旧吉岡温泉跡地は、集客目的のキャンプ場整備から、**防災を優先し一時避難場所としての防災広場へ変更**した。防災広場とすることで、有利な財源確保も可能となる。駐車スペース、防災東屋（救護等）、かまどベンチ等を備え、**維持管理費を抑えたコンパクトな整備を検討し、吉岡温泉とも連携する防災拠点**を目指す。

動画はこちら



第2青函トンネル

問

第2青函トンネルで見る町の未来は

答

町民の理解を得て悲願の実現を目指す

平沼 昌平議員

第2青函トンネル構想が大きく前進している中で、町として北海道、青森県、そして国会議員への要望活動を積極的に展開していくとの方針が示されました。

- ①町としての**準備体制**はどうか。
- ②北海道・青森県との**連携の具体像**について。
- ③町民への**説明と情報提供**について。
- ④町の**将来ビジョンとの連携**について。
- ⑤町の**主体的な姿勢**について。

町としてどのような未来像を描き、役割を果たしていくのか見解を伺います。

鳴海町長

- ①**実現する会を設立し事務局は企画課**が担当。情報収集・調整と要請活動を実施。
- ②渡島西部四町、渡島総合開発期成会等と連携を図りながら進めている。青森県今別町とは**準備段階から情報交換し、総会・講演会や勉強会にも参加、本年4月に青森市内で意見交換を予定**している。
- ③～⑤国家プロジェクトとして整備が進むものと捉え、スタート台に立てたとの認識のもと、町民の理解と議会・実現する会の協力を得て、関係機関へ積極的な要請活動を展開する。

令和8年度 予算審査 特別委員会

詳しくは
こちら



議員は予算のココに注目!!

予算総額62億7,686万円 総額はほぼ横ばい

3月11日から12日の2日間にわたって令和8年度会計の予算審査特別委員会が行われ、一般会計他4つの特別会計・浄化槽事業会計・水道事業会計を含む予算議案を可決しました。

※金額は四捨五入表示。

※問・答は、内容を要約し、全体から抜粋したものを第6次総合計画のまちづくり項目の順番で掲載しています。

令和7年8月
アワビ陸上養殖事業
について常任委員会
で調査しています。

詳しくは
こちら



今後の方式を判断する。

し、まずは現在の施設で飼育する。北日本水産方式の試験も継続し、成長状況を見ながら

答

5万個購入し

試験も継続

問

アワビ陸上養殖、
今後の方針は

アワビ種苗は何個購入する予定で、今後の飼育方式をどう考えているのか。(佐藤議員)

●漁業の振興

産業を活性化し、
地域資源を活かす
まちづくり

問

農業生産法人、
設立への道筋は

●農業の振興

農業生産法人を進めるのなら、農地確保や法人化の道筋をはっきりさせるべきではないか。
(熊野議員)



R 7.10.23 北日本水産社長との懇談後、アワビ陸上養殖施設を視察しました。
(左：北日本水産方式、右：福島町方式)

答

農地確保を進め
法人化も視野

まずは農地確保を進め、そばを中心とした生産基盤づくりに取り組む。必要な規模を見極めながら、法人化も視野に入れて準備を進める考え。

●観光業の振興

問

入館料改定対象は

両記念館の入館料改定は小中学生も対象か。また、来年度の入館者数をどの程度見込んでいるのか。(小鹿議員)

答

小中学生も対象

入館料の引き上げは小中学生も対象となる。入館者数は今年度実績を踏まえ、来年度も1万人を超える利用を見込んでいる。

次世代を育成し、
つながり、学びあう
まちづくり

●子育て支援の充実

問

保育所定員、
受け入れ体制は

保育所の定員40人に対し入
所予定が41人となっている
が、受け入れに支障はないの
か。あわせて、今後の保育士
確保は大丈夫か。(藤山議員)

答

園全体で調整し対応

認定こども園は、保育所部
門40人、幼稚園部門20人の計
60人定員で、全体としては定
員内で対応している。4月に
は正職員1人の採用予定で、
当面の体制は確保できる見込
み。



問

登校しづらい子への
支援は

学校に通えていない、又は
通いづらい子どもに、どのよ
うな支援を行っているのか。
(藤山議員)

答

学校と教委が
連携し対応

学校による家庭訪問や手紙
のやり取りに加え、教育委員
会の指導主事らも関わり、別
の場所での学習や活動支援な
ど、子どもが学校とのつなが
りを失わないよう対応を続け
ている。

福祉・医療が充実し、
互いを認め合える
まちづくり

●高齢者福祉の充実

問

生活支援ハウス、
空き要因は

生活支援ハウスは定員20人
に対し入居が12人とどまっ
ているが、施設の老朽化と関
係しているのか。(杉村議員)

答

老朽化と
空き状況は別問題

老朽化と入居人数は直接関
係なく、空きがあることが改
修理由ではない。入居者募集
は広報などを通じて引き続き
行っていく。



議会は生活支援ハウスも視察しています(令和6年度経済福祉常任委員会にて)

生活基盤が安定し、
安心安全に暮らせる
まちづくり

●生活基盤の確保

問

地域間幹線バス、
支援の考え方は

地域間幹線バス木古内松前線への支援は、どのような経過で決まり、負担割合はどう算定したのか。
(溝部議長)

答

四町で支え
路線維持へ

木古内松前線は赤字額が大きき、運転手不足も重なって維持が厳しい路線となっている。今後の運行維持のため、沿線四町で支援することとし、人口・距離・均等割を各3分の1ずつ組み合わせて負担割合を決定した。

バスの支援金はいくら？

令和7年度分として
753万円を3月会議で補正。
※令和8～9年度分は
各年度800万円を計画に計上。



一人ひとりが協働し、
持続可能な
まちづくり

●移住・定住の支援

問

U・Jターン就業
支援の実効性は

U・Jターン就業支援事業は町内企業の登録がないまま実効性があるのか。今後の進め方は。
(木村議員)

答

企業への
働きかけを継続

制度開始時に事業者へ声かけはしたが、登録には至らなかった。今後は改めて企業への周知と働きかけを行い、制度の活用につなげたい。

●行財政運営の推進

問

国の制度見直し、
町の財源見直しは

高校無償化や給食費無償化など、国の制度見直しを踏まえた町の財源見直しはどう見ているのか。
(溝部議長)

答

国補助反映、
交付税も一定見込む

高校無償化については当町の高校は道立高校であり、町の歳入歳出に直接影響するものではない。小学校給食費への国補助は予算に反映済み。普通交付税は前年度実績並みで計上しつつ、国の増額方針による上振れも一定程度見込んでいる。財政調整基金は年度末で12億円台半ばを見込んでいる。

令和8年度各会計予算総額

| 会計名 | | 令和8年度 | 令和7年度 | 増減 | 増減率(%) | |
|---------|---------------|--------------|--------------|-------------|---------|-------|
| 一 | 一般会計 | 45億5,468万8千円 | 45億2,425万4千円 | 3,043万4千円 | 0.67% | |
| 特別会計 | 国民健康保険特別会計 | 6億9,117万7千円 | 6億6,217万円 | 2,900万7千円 | 4.38% | |
| | 介護保険特別会計 | 保険事業勘定 | 5億2,847万円 | 5億2,113万2千円 | 733万8千円 | 1.41% |
| | | サービス事業勘定 | 163万9千円 | 163万9千円 | 0円 | 0% |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 1億460万8千円 | 7,987万3千円 | 2,473万5千円 | 30.97% | |
| | 国民健康保険診療所特別会計 | 1億2,714万8千円 | 1億2,617万2千円 | 97万6千円 | 0.77% | |
| 水道事業会計 | | 1億8,885万3千円 | 2億691万5千円 | ▲1,806万2千円 | ▲8.73% | |
| 浄化槽事業会計 | | 8,027万9千円 | 7,725万5千円 | 302万4千円 | 3.91% | |
| 予算総額 | | 62億7,686万2千円 | 61億9,941万円 | 7,745万2千円 | 1.25% | |

令和8年度 議会費の使い道

議員歳費の増額等により
前年度より1,044万円の増額

| 区分 | 令和8年度 | 令和7年度 | 概要 |
|---------|-----------|-----------|--|
| 報酬 | 2,884万3千円 | 2,594万2千円 | 議員歳費、諮問会議委員報酬 |
| 給料 | 1,552万円 | 1,483万4千円 | 事務局職員4名分（内会計年度任用職員1名） |
| 手当等 | 2,081万5千円 | 1,467万円 | 議員・事務局職員の期末手当 |
| 共済費 | 1,759万3千円 | 1,647万9千円 | 議員・職員共済費 |
| 報償費 | 10万円 | 10万円 | 専門的知見謝金（審査・調査） |
| 旅費 | 201万8千円 | 244万9千円 | 議員・事務局の出張に係る旅費ほか |
| 交際費 | 20万円 | 20万円 | 慶弔費ほか |
| 需用費 | 139万円 | 137万4千円 | 議会だより印刷製本費、消耗品費ほか |
| 使用料・賃借料 | 124万1千円 | 123万6千円 | ペーパーレス会議システム使用料ほか |
| 負担金・交付金 | 165万円 | 164万6千円 | 各加入団体負担金、政務活動費ほか |
| 合計 | 8,937万円 | 7,893万円 | *町予算書では、事務局職員4名分の給料等が、「職員・会計年度任用職員給与費」に計上されているため、この表の予算額と一致しません。 |

町の財政は大丈夫？

近年大きな事業が続く、「町のお金は大丈夫？」という声があります。今年度予算総額は前年度とほぼ同規模で、借入額は減っていますが、借金返済にあたる公債費や物価高騰による経常経費が増えており、今後も注意が必要です。

財政調整基金って？

町の財政における貯金のよくなもので、急な支出や年度ごとの調整に使われます。適切に使用するのには問題ありませんが、極端に減り続けると将来の備えが弱くなってしまいます。

令和8年度予算では、一般会計は前年度とほぼ同じ規模で、財政調整基金も引き続き活用していますが、借入額は前年度より減っています。

議会として、今後も町の財政状況を注視していきます。

降り積もる雪への対応、除排雪費用の追加 衆議院選挙費用の追加

定例会2月会議は2月13日に開会、議案1件、報告1件を審議し、原案通り可決、同日付けで休会しました。参加者は1名でした。

町議会定例会
2月会議

詳しくはこちら



単位：千円

| | |
|---------------------|-----------|
| 令和7年度 一般会計(第10号) | |
| 補正額 | 11,308 |
| 補正後 | 5,113,255 |

単位：千円

| | |
|---------------------|-----------|
| 令和7年度 一般会計(第11号) | |
| 補正額 | 72,539 |
| 補正後 | 5,185,794 |

● 奨学資金貸付費
一時貸付金の実績見込(6名分)による貸付金の追加。
313万2千円

● 道路維持費
除排雪業務委託料の追加。
6千円

令和7年度一般会計補正予算(第11号)

補正予算

● 衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費
衆議院議員選挙・最高裁判所裁判官国民審査執行に伴う追加。
1千130万8千円

令和7年度一般会計補正予算(第10号)

専決処分の報告

地域経済緊急支援事業 全町民へ1人1万円分の地域商品券発行

定例会3月第2回会議は3月26日に開会、議案3件を審議し、いずれも原案通り可決、同日付けで休会しました。参加者は1名でした。

町議会定例会
3月第2回会議

詳しくはこちら



単位：千円

| | |
|---------------------|-----------|
| 令和7年度 一般会計(第13号) | |
| 補正額 | 14,751 |
| 補正後 | 5,016,754 |

単位：千円

| | |
|--------------------|-----------|
| 令和8年度 一般会計(第1号) | |
| 補正額 | 39,363 |
| 補正後 | 4,594,051 |

● 地域経済緊急支援事業費
エネルギー価格高騰による町民生活への影響を解消するため町内で活用できる地域商品券を発行し、生活の下支えと町内の消費喚起を図るための追加。(全町民対象1人1万円)
3千498万9千円

● 予防費
肺炎球菌ワクチン助成対象者拡大による接種費用の追加。
357万5千円

令和8年度一般会計補正予算(第1号)

● 防災資機材等整備事業費
災害発生時の避難所設置用移動式エアコン10台購入費用の追加。
1千350万円

令和7年度一般会計補正予算(第13号)

補正予算

議会ライブ中継 配信方法移行のため委託料追加

町議会定例会
4月会議

詳しくはこちら



定例会 4月会議は 4月27日に開会、議案 4件を審議し、原案通り可決、同日付けで休会しました。参加者は 0名でした。

| 区分 | 内容 |
|--------|--------------------------------------|
| 工事名 | 福島テレビ中継局地上デジタル送信機更新工事 |
| 方法 | 随意契約 |
| 金額 | 101,200,000円 |
| 契約の相手方 | (株)NHKテクノロジーズ 札幌総支社 総支社長 萬壽 宜礼 |

地震や落雷などによる、福島テレビ中継局の電源供給停止に備え、送受信装置を省電力型に変更し、電源供給時間の長期化を図る。

工事契約

令和8年度税制改革大綱により条例を一部改正。

町税条例の一部改正

条例の改正

● 疾病予防費
肺炎球菌予防接種対象拡大による予防接種手数料の追加。
124万円

令和8年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

● 各学校校舎宮繕事業費
吉岡小学校の消防用設備が落雷により故障したことによる修繕費の追加。
340万円

● 議会中継システム更新事業費
議会ライブ中継の配信方法を他の配信方法へ移行するため委託料の追加。
71万円

令和8年度一般会計補正予算(第2号)

補正予算

単位：千円

| 区分 | 補正額 | 補正後 |
|---------------------|-------|-----------|
| 一般会計 (第10号) | 5,008 | 4,599,059 |
| 国民健康保険特別会計 (第1号) | 1,806 | 692,983 |



各議案の審議結果

・賛成が○、反対は×、病欠は△、欠席は欠と表示しています。
 ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

| 会議名 | 議案番号 | 議案 | 議員名 | | | | | | | 審査結果 |
|-------------------|---------------------|---------------------------------|-----|----|----|----|----|----|------|------|
| | | | 藤山 | 杉村 | 佐藤 | 小鹿 | 平沼 | 木村 | 熊野 | |
| 2月会議 (2/13) | 報告4 | 専決処分した事件の報告(令和7年度一般会計補正予算・第10号) | - | - | - | - | - | - | - | 報告済 |
| | 53 | 令和7年度一般会計補正予算(第11号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 3月会議 (3/10) | 55 | 特別職職員で非常勤の者の報酬・費用弁償条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 原案可決 |
| | 57 | 職員給与条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 58 | 国民健康保険税条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 59 | 墓地設置・管理条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 60 | 横綱千代の山・千代の富士記念館条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 61 | 青函トンネル記念館条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 62 | 地域農政総合対策推進協議会条例の廃止 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 63 | 林業振興協議会条例の廃止 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 74 | 令和7年度一般会計補正予算(第12号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 75 | 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 76 | 令和7年度介護保険特別会計補正予算(第4号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 77 | 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 78 | 令和7年度国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 79 | 令和7年度水道事業会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 80 | 令和7年度浄化槽事業会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| 報告5 | 新型インフルエンザ等対策行動計画の改定 | - | - | - | - | - | - | - | 報告済 | |
| 発委12 | 議会基本条例諮問会議条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 原案可決 | |
| 3月会議 (3/12) | 54 | ふるさと暮らし応援条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 原案可決 |
| | 56 | 特別職職員給与条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 64 | 第6次総合計画の変更 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 65 | 過疎地域持続的発展市町村計画の変更 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 66 | 令和8年度一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 67 | 令和8年度国民健康保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 68 | 令和8年度介護保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 69 | 令和8年度後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 70 | 令和8年度国民健康保険診療所特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 71 | 令和8年度水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 72 | 令和8年度浄化槽事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 73 | 財政調整基金積立金の処分 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 81 | 公の施設の指定管理者の指定(道の駅「横綱の里ふくしま」) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 同意3 | 監査委員の選任 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| | 同意4 | 固定資産評価審査委員会委員の選任 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | |
| 発委13 | 議会議員歳費・費用弁償等条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 原案可決 | |
| 3月第2回会議 (3/26) | 82 | 令和7年度一般会計補正予算(第13号) | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | 原案可決 |
| | 83 | 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号) | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | |
| | 84 | 令和8年度一般会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | |
| 4月会議 (4/27) | 1 | 町税条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| | 2 | テレビ中継局地上デジタル送信機更新工事請負契約の締結 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 3 | 令和8年度一般会計補正予算(第2号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 4 | 令和8年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |



調査事件 6

津波避難対策計画・津波避難対策緊急事業 計画の策定

— 1月27日調査 —

町は日本海溝・千島海溝型地震防災対策の「特別強化地域」に指定され、津波避難対策計画・緊急事業計画の策定を進めており、この度、進捗状況について資料が示されたので、調査しました。

防災対策の周知徹底を

★委員会による重点確認ポイント

◆冬の避難対応

- 一時避難場所は全季節対応と想定されているが、場所によっては冬季の避難が難しいおそれがあるため、あらかじめ冬の避難を想定した計画も盛り込むよう求めました。

◆避難場所見直しの妥当性確認

- 海岸線に面した地区にある避難所のうち、浦和地区については、安全性の面から不適切ではないかと懸念されるので、高台にある旧浦和小学校跡地を一時避難場所として再考するよう求めました。

◆再編後の周知と訓練の徹底

- 避難場所は52か所から21か所へ集約再編される方向であり、住民の混乱を防ぐためにも、防災マップの刷新や、町内会ごとの避難訓練など、周知啓発の徹底を求めました。

◆避難環境整備の前倒し

- 大地震発生 of 切迫性を踏まえ、必要な整備は計画策定を待たずに進めるべきと指摘。特に、一時避難場所のトイレ整備は重要であり、主要な避難所への整備・対応を検討するよう求めました。

調査事件 7

町立学校の今後の在り方

— 1月27日調査 —

教育委員会は、児童生徒の減少や施設の老朽化等、当町の義務教育が抱える課題の解決に向けた検討を進めており、この度、町立学校の今後のあり方を検討するにあたっての考え方等について資料が示されたので、調査しました。

子どもを第一に丁寧な説明を

★委員会による重点確認ポイント

◆子どもの教育環境を最優先に

- 少子化や施設の老朽化が進む中、子ども達の教育の質を高めることを考慮し、義務教育学校設置を最善の策とする町・教育委員会の考えは理解しました。

◆制度理解につながる丁寧な周知を

- 義務教育学校の設置については、単に吉岡小学校を福島小学校へ統合する話と受け止められる懸念があるので、制度の意義やメリットが正しく伝わるよう、町民への丁寧な周知・説明を求めました。

◆地域住民の理解を得た上で検討を

- 吉岡地区は地域と学校の繋がりが強く地域全体で子どもを見守ってきた経緯があるので、調査研究組織の設置を先行するのではなく、地域住民に対する意識調査や説明会を行い、理解を得ながら進めるよう求めました。





調査事件 1

義務教育学校の設置に向けた取り組み

— 4月27日調査 —

町立学校の今後のあり方については、令和8年1月27日に所管事務調査を実施しておりますが、教育委員会より取り組みの状況について、資料が示されたことから、調査しました。

福島も吉岡も納得できる進め方を

★委員会による重点確認ポイント

◆福島地区にも丁寧な説明を

- 義務教育学校の設置は吉岡地区だけでなく、福島小・中学校のあり方（校名、校歌、校章、閉校行事等）にも大きく関わる課題であり、福島地区での説明会を行い、理解を得ながら進めるよう検討を求めました。

◆施設整備は慎重に精査を

- 既存施設を最大限活用して整備を進める方針としているが、全国的に資材価格や人件費の高騰などにより、想定通り進まないおそれもあることから、財源確保を含め十分精査しながら進めるよう求めました。あわせて、設備の老朽化が進んでいる学校給食センターについても、一体整備やセンターを廃止し民間委託する事を含め検討が必要としました。

◆議会も理解を深め議論を

- 義務教育学校の設置は、町の教育環境を大きく変える取組であり、今後設置される準備委員会においては先進地視察を積極的に行い、メリットを最大限に活かし、デメリットを抑える方策を検討するよう求めました。議会としても義務教育学校のあり方について理解を深め議論をしていく必要があると認識しています。



議会への意見・質問フォームに寄せられたご意見

議会だよりや
HPで回答希望

ご意見の内容 ※要約しています

ヒグマ対策として、ハンター不足を解消するため、町民が狩猟免許を取得しやすくなる支援策や、元自衛官・警察官・消防職員・消防団員などの経験を持つ人材の活用を検討してはどうか。銃の管理についても、町による一括管理などの方法を検討できないか。あわせて、ヒグマの出没増加には山林の大規模開発などによる環境変化が関係している可能性もあるため、太陽光・風力発電などの開発について町民全体で議論し、里山整備を進めることが重要ではないか。

議会としての回答

ご意見ありがとうございます。

狩猟免許や猟銃の所持許可は町が独自に基準を決められるものではなく、狩猟免許は都道府県、

猟銃の所持許可は公安委員会の管轄となります。

また、猟銃についても、許可を受けた本人による厳格な管理が必要であり、町一括管理して必要時に貸し出す運用は難しいものと考えます。

一方で、ハンター不足は重要な課題であり、福島町では、町内居住者を対象に狩猟免許取得や猟銃所持許可、猟銃購入に係る費用への助成を行っています。議会では今後も担い手確保や負担軽減について、町の取り組みを確認していきます。

また、ヒグマの出没は、山の餌の状況、里山環境の変化、人里側の誘因など、複数の要因が重なって起こるものとされています。町民の安全確保を最優先に、草刈り、誘因物対策、里山整備、情報共有などの取組が重要です。再生可能エネルギーを含む大規模開発による自然環境のあり方についても、議論していくことが大切だと考えられております。



調査事件15

木質チップの活用状況

— 1月19日調査 —

町は、令和7年度から町内業者が木質チップを生産供給するとしていましたが、令和7年11月現在も町外から購入しているとの説明があり、速やかに対処するよう指摘しました。この度、町より資料が示されたので、調査しました。

木質チップの品質管理と受入環境の改善を

★委員会による重点確認ポイント

◆安定供給へ保管環境改善を

町内産木材を活用した木質チップは含水率の課題から十分に活用できていないため、供給業者に対し適切な保管環境整備を強く指導するよう求めました。

町内未利用材の消費拡大の方法として、温泉以外にも町内全体で木質チップの活用を促進し、町民に対し木質チップを広くPRし、認知してもらうことが重要であり、わかりやすく周知するよう求めました。

◆吉岡温泉の改修内容

サイロ室内部の改修などを予定しているが、委員からは、こうした課題は設計段階で検討すべき内容ではなかったかとの指摘があり、チップ搬入口の狭さや雨対策など、木質チップを適切に受け入れるための環境改善を求めました。



木質チップ搬入の様子



使用している
木質チップ

調査事件12

国民健康保険事業の運営

— 2月12日調査 —

町は、令和12年度に全道統一の保険料率となることを見据え、税率を毎年度見直し、必要に応じて改正することとしており、この度令和7年度の運営状況と、令和8年度の税率改正について資料が示されたので、内容を調査しました。

新たな負担の周知と基金活用を求める

★委員会による重点確認ポイント

◆令和8年度に向けた保険税率改正

令和8年度から、新たに「子ども子育て支援納付金分」が創設・課税されることになるが、内容が町民には理解されないと懸念されるので、広報などを通じてわかりやすく周知されるよう求めました。

◆基金の有効活用を検討すべき

国保基金残高は、令和7年度末で約1億7千万円を超えている。基金は突発的な資金不足に対応するために必要であったが、広域化したことで急激な変動が緩和されることを踏まえ、毎年保険税があがっていることから、保険税負担軽減や健康増進事業などに有効活用することを検討すべきと求めました。



調査事件13

町内介護事業の現状

— 2月12日調査 —

町内では、現在3事業所が介護サービスを提供しておりますが、いずれの事業者も経営は厳しい状況にあると推察されることから、町内の介護事業の実態と、介護事業を維持するための方策について町へ資料の提出を求め、調査しました。

町内介護を守るために 危機感の共有と連携強化を求める

★委員会による重点確認ポイント

◆現場の実態をより深く把握すべき

町内の介護事業者は、人材不足や利用者減少、物価高騰などにより厳しい経営状況にあります。委員会は事業者との懇談も踏まえ、町が現場の実態をより深く把握し、課題を共有するよう求めました。



チェックポイント!

1/13介護事業所と議員で懇談を行いました。
(17ページに掲載)

◆広域連携も視野に対策検討を

町は、就労奨励金の新設や外国人介護人材育成事業の継続を進める考えを示しました。委員会は、こうした支援だけで事業を維持していくことは難しいとして、町が主導して事業者と協議する場を設けるとともに、将来的には広域的な連携も視野に入れて対策を進めるよう求めました。

調査事件14

町立診療所の経営

— 2月12日調査 —

町立診療所の経営状況については、開設以降議会としても注視してきましたが、実質単年度収支が大幅な赤字となるなど、未だに厳しい経営状況にあります。町より診療所の経営状況について資料が示されたことから調査しました。

診療所経営を調査 利用拡大と経費見直しを求める

★委員会による重点確認ポイント

◆赤字縮減へ具体策の検討を

町立診療所は、利用者数と診療収入の減少により、厳しい経営状況が続いています。委員会は、訪問診療を含めた利用実態を詳しく分析し、町内利用者の拡大や業務合理化につながる対策を検討するよう求めました。

◆医師公宅の適正管理を

医師公宅では高価な暖房ボイラーの取替が必要となったことから、委員会は、使用者責任も含めた適正管理について医師と協議し、公宅管理の徹底に努めるよう求めました。





調査事件 3

町内介護事業者との懇談

— 1月13日調査 —

このままでは支えきれない 町内介護の維持へ危機感共有

町内3介護事業所と個別に懇談し、介護現場の実情を聞き取りました。懇談を通して強く感じたのは、介護事業を取り巻く状況が想像以上に厳しく、このままでは町内の介護提供体制そのものが成り立たなくなる恐れがあるということです。議会としては、事業所ごとの努力だけに任せるのではなく、町全体で介護の受け皿をどう維持していくか、危機感を持って考える必要があると受け止めました。

◆人材不足と職員の高齢化

各事業所からは、職員の確保が難しく、募集しても応募がないことや、職員の高齢化が進んでいることが共通課題として挙げられました。介護人材の不足は以前から続いています。が、今後はさらに深刻化するおそれがあり、必要なサービスを維持できるのか強い不安が示されました。



◆利用者減少と経営悪化

人口減少が進む中で利用者数が減り、加えて物価高騰や制度改正の影響も重なり、事業運営は厳しさを増しています。

特に訪問介護では、地方ならではの移動負担が大きい一方で、そうした実情が十分に反映されにくいことも課題として挙げられ、事業継続への危機感が示されました。



◆町全体で支える体制が必要

今回の懇談を通して見えてきたのは、どこか一つの事業所だけの問題ではなく、町内介護全体の維持に関わる課題だということです。議会としては、このまま事業所任せにするのではなく、町が調整役となつて3事業所と現状や課題を共有し、介護の受け皿をどう守るか協議する場が必要であると結論づけました。

★懇談で出た声

- ・人材不足と資格者流出で、募集しても人が来ない。住み慣れた家で暮らしたいという利用者ニーズは強いが、民間事業所としての経営は厳しい。
- ・法人全体で赤字が続き、感染症や利用低下の影響も大きい。どこかが崩れると、町で介護の受け皿が失われかねない。
- ・需要の絶対数は減っても、人材不足は深刻。町全体で介護の空白を出さない仕組みが必要。



町民と議員との 懇談会

町議会の「これから」を語りあう

議会の方向性に対する町民の声とは？

今年度の「町民と議員との懇談会」は、2月3日から6日間、全16会場で開催し、76名の町民の皆さんにご参加いただきました。

今年の懇談会では、議会改革調査特別委員会で審議してきた今後の福島町議会の方向性について「議員定数、議員歳費、議員のなり手不足、議会改革」に重点を置き、町民の皆さんの率直な意見を伺いました。

その他にも地域の将来や暮らしに関わる様々な声をいただきました。

いただいた意見の中から一部をご紹介します。

1. 議員定数・報酬

議員を減らすと町民の声が町に届きにくくなるのでは。

報酬を増やしてもよいのでは。他の町では増やしていると聞く。

9人から1名減という考えではないのか？

実際の議員数が9名で活動して何年もたっているのです。

議員はボランティアという考えはないのか？

昔は名誉職のような位置づけだった。

🔍 議会の考え

- ・定数を減らしすぎると議会運営に支障が出る。
 - ・歳費は活動量に基づいた算定方法を採用しており、令和5年度に一度改正している。
- ➡特別委員会で確認した方向性で進める。



2. 議員のなり手不足

簡単に立候補できない。

自分の暮らしや、今の仕事を捨てることになりかねない。

女性議員が必要

立候補には地域の後押しが必要では。

仕事との両立が難しい

働きながら議員活動ができる仕組みが必要では。

🔍 議会の考え

・これまでも声掛け等を行っているが、家族の反対や落選時の心理的負担などもあり、今までの反応を見ると中々難しい。

→特別委員会で確認した方向性で進める。

3. 議会改革

なぜ委員会が2つあるの？

委員会で

議論する案件を精査

した方がいい。

今までの体制、やり方を維持するのか、変えていくのか考えていくべきでは？

委員会を一つにして

委員長の負担が増えるなら手当を増やしては？

🔍 議会の考え

・現状でも委員外議員として、ほぼ全議員が両委員会に関わっている。
・当議会では委員会での審議を重視してきている。

→特別委員会で確認した方向性で進める。



4. その他

防災関係

冬の避難は
移動が難しい

熊対策

出没時の放送は
地区を知らせて

町内会関係

役員のなり手がいない

環境・インフラ関係

ゴミが多い原因は？

除排雪関係

排雪の基準が
わかりにくい

教育関係

高校の応募状況は？

💡 議会関係以外にも、熊対策、教育、産業、除排雪、防災、環境・インフラ、町内会など、身近な話題が活発に寄せられ、特に「熊対策」と「防災」に関する声が多かったです。

【報告書はこちら】



■まとめ

「町民と議員との懇談会」は、町民の声を直接聞き、議会のあり方を考える貴重な機会です。今年は「議員のなり手不足」と「議会改革」に焦点を当て、多くの意見をいただきました。議会では、いただいたご意見をもとに、より町民の皆さんにとって身近で開かれた議会を目指し、改革を進めてまいります。

あなたの声も聞かせてください

下記の二次元バーコードを読み込むと、議会宛ての意見・質問フォームに繋がります。

こちらの二次元バーコードはご利用いただけません

💡 チェックポイント！

2/27議会改革調査特別委員会で議論しました。(21ページに掲載)

🔗 議会ガイド



🔗 用語集





調査事件

議会体制のあり方、議員のなり手確保対策等 議会改革について

議会体制のあり方、議員のなり手確保対策等議会改革について、令和9年8月の改選期に向け、検討を進めています。2月27日に開催された委員会での状況と、これまでの審議で確認した方向性を報告します。

第7回会議

— 2月27日調査 —

令和8年2月3日から10日にかけて「町民と議員との懇談会」を開催、特別委員会で確認した見直し項目の方向性について説明し、町民から様々な意見を聴き取りました。

第7回会議では、これまで特別委員会で議論してきた見直し事項「議員定数」「議員歳費」「議員のなり手対策」「議会改革の見直し」の内容について、町民の意見も踏まえて委員会としての最終確認を行いました。

特別委員会で最終確認した 新しい福島町議会の方向性

◆◆ 議員定数 ◆◆

・ 10名→9名（1名減）。

懇談会では、議員を減らすことで町に意見が届きにくくなることを懸念する声もあったものの、人口減少が進んでいることや、これまで4年以上9名で議会運営を行ってきたこともあり、定数を9名とする方向で確認しました。

◆◆ 議員歳費 ◆◆

・ 福島町方式を継続。(算定方法は現状維持)※

懇談会では、町のために真剣に働いてくれるなら歳費の増額も検討すべきといった意見が出され、委員からも更なる増額が必要ではとの意見もありましたが、現状の歳費でも渡島管内では上位に位置していることもあり、現在の算定方式「福島町方式」を継続することで最終確認しました。

※令和8年4月より 町長の給与が増額となったため、議員歳費も再算定し、増額となりました。

| | | | |
|-----|-----------|---|--------------------|
| 月 額 | 21万6,000円 | → | ※24万円（町長の給与月額×0.3） |
| 議 長 | 32万1,000円 | → | ※35万7,000円 |
| 副議長 | 25万7,000円 | → | ※28万5,000円 |
| 委員長 | 23万3,000円 | → | ※25万9,000円 |

◆◆ 議員のなり手対策 ◆◆

・ 議会モニター導入

諮問委員の職務として議会モニター関連業務を追加し、諮問委員定数を13名以内としました。(追加公募の結果、令和7年度は2名の応募があり委嘱しました。)

※令和8年度に改選となり、諮問委員は公募委員4名を含む13名に委嘱しました。

◆◆ 議員改革の見直し ◆◆

・ 2つの常任委員会を1つに統合。

懇談会では、議員の負担増への言及もあったが、特に問題とする意見はなかったため、特別委員会としては、1常任委員会とする方向で最終確認しました。

※2つの委員会：総務教育常任委員会、経済福祉常任委員会。

・ 倫理条例にハラスメント条項追加。

懇談会では、女性や若者を受け入れるための体制づくりが必要との説明に異論もなく、条例は制定せず、議員政治倫理条例にハラスメント条項を追加し、整理することを確認しました。

● 今後の見直しスケジュール

令和8年6月～9月

・ 定例会6月会議または定例会9月会議で、関係条例の改正を提案予定。



△ 福島町議会議員選挙まで △

あと 1年2ヵ月

次の町議会議員選挙は令和9年8月

となります。



議会基本条例諮問会議

— 令和8年5月13日開催 —

● 令和8年度第1回会議開催。

5月13日に第1回会議を開催しました。
審議、調査を行った内容は次のとおりです。

◆ 議会評価（令和7年度分）の検討

- ・ 議会運営委員会による議会評価は特に問題ない。
- ・ ▲が連続している文書質問の対応については改善策をとり、評価向上への努力が必要。

委員（◎が会長）

| 氏名 | 区分 | 推薦団体 |
|---------|--------------|-------------------|
| 本庄 丈晴 | 産業関係 団体推薦 | 水産加工振興協議会 |
| 久野 寿蔵 | | 農業協同組合 |
| 工藤 将史 | | 商工会青年部 |
| 奈良 美代子 | | 商工会女性部 |
| 若松 紳悟 | | 漁業協同組合 吉岡地区青年部 |
| 対馬 大輔 | | 漁業協同組合 福島地区青年部 |
| 松村 江身子 | | 漁業協同組合 吉岡地区女性部 |
| 中山 晃 | 教育関係 団体推薦 | 文化団体協議会 |
| 渋谷 悟史 | | スポーツ協会 |
| 常磐井 武典 | 公 募 | |
| 成田 えり子 | | |
| 清水 紘太 | | |
| ◎ 出羽 正機 | | |

顧問

| 氏名 | 備考 |
|------|-----------|
| 神原 勝 | 北海道大学名誉教授 |

ぎかいのコトバ

しもんかいぎ 諮問会議

議会の活動に対して、
町民の目線で意見を伝える役割
があります。議会基本条例に基づ
く議会の付属機関として、次の内
容について調査審議し議会に意見
を答申します。

- ・ 議会基本条例の見直し
- ・ 議員定数・歳費
- ・ 議会評価 ほか

また、議会モニターとして本会
議・各種委員会や、議会だより・
議会HPに関する意見を伝える役
割もあります。

今年度も3回の開催を予定し、
議長から諮問された内容について
審議・答申をします。

昨年度途中から公募委員を増枠
しており、今年度からは委員13
名と顧問1名により会議の充実を
図ってまいります。

※委員委嘱期間：2年間（現委員
は令和8年4月～令和10年3
月末まで）

今後のスケジュール

【第2回会議】 R 8.8.25 (火)

第1回会議の確認

議会基本条例見直しに伴う行動
計画（令和7年度分）の確認
常任委員会所管事務調査の内容
確認

- ・ 町内介護事業の現状について

【第3回会議】 R 8.10.14 (水)

大会会議の確認、講義事項
答申書の確認、議員との懇談会

【答申書提出】 R 8.12.1 (火)

「議会」の評価

令和7年度（1年間）の活動結果



議会HP

「議会活動評価要綱」に基づき、議会活動を主要10項目と具体的な40項目に区分し議会運営委員会(4月24日決定)が評価し、諮問会議で内容を検討した結果を町民に公表しております。

昨年と比べ、[団体との懇談会、参画者への対応と参加度が1段階改善](#)されました。引き続き「町民が実感できる政策を提言する議会」、豊かな町づくりを目指して努力を続けてまいります。

評価の分類：○＝「おおむね一定の水準にある」、△＝「一部水準に達していない」、▲＝「取組が必要」

| 主要項目 | 具体的な項目 | 過去3年間の評価 | | | R7評価 | 要 点 |
|-----------|-----------------|----------|----|----|------|---|
| | | R4 | R5 | R6 | | |
| 1. 議会の活性化 | ①一般質問(人数・項目件数) | ○ | △ | △ | ▲ | R7年度の一般質問件数は13人・13項目であり、3人、2件の増となっている。1定例会平均質問者数3.3人(36.7%) (全国6.5人(57.5%)、全道4.7人(45.6%)、渡島管内4.5人(40.9%))となっている。より積極的な一般質問への取組が必要である。 |
| | ②質疑・意見交換 | ○ | ○ | ○ | ○ | 本会議、常任委員会、予算・決算審査特別委員会等での審議を活発に行っている。常任委員会所管事務調査数は22件(総務教育常任委7件、経済福祉常任委15件)となっている。引き続き質疑・意見交換内容を充実する。(平均質疑者・回数:定例3.3人8.0回、定例外1.3人2.5回、委員会5.7人32.1回)(平均意見交換者・回数:定例3.3人6.5回、定例外1.0人1.3回、委員会3.3人14.9回) |
| | ③討議・討論(本会議) | △ | △ | △ | ▲ | 常任委員会所管調査、事前勉強会等の実施により本会議での討議・討論は少ないものとなっているが、引き続き「議員間討議要綱」に基づき、論点・争点を明らかにした討議・討論への取組が必要である。(討議;R6=0件、R7=1件、討論;R6=0件、R7=0件) |
| | ④討議(委員会) | ○ | ○ | ○ | ○ | 各種委員会において質疑・意見交換で出された内容を論点整理した項目に沿って活発な議員間討議を行っている。(R7開催日数:常任委員会=14日、特別委員会=8日) |
| | ⑤議員提案 | ○ | ○ | ○ | ○ | 所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されている。一般質問項目、「町民と議員懇談会」意見についても常任委員会で検討したが、所管調査として取組む事案はなかった。 |
| | ⑥文書質問 | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | R7年度の実績は1人・2項目であった。これまでも質問が特定の議員に偏り、項目数も低下傾向が続いていることから、政策提案等に向けた文書質問への取組が必要である。(R5=実1人・1項目、R6=実1人・1項目、R7=実1人・2項目) |
| 2. 議会の公開度 | ①会議の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | 本年度は100%公開し、委員会もライブ中継・録画配信を行っている。 |
| | ②審議記録の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | ホームページで全て公開している。 |
| | ③審議前会議資料の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | 基本的に全て公開している。(議場・ホームページ) |
| | ④議会経費の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | 決算内容を含め、交際費・政務活動費などの詳細も全て議会だより・HPで公開している。 |
| | ⑤視察報告の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | 本会議・ホームページで公開している。 |
| | ⑥全員協議会の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | ライブ中継・録画配信を行っている。(R7年度の開催回数=0件) |
| | ⑦会議公開の充実(ライブ中継) | ○ | ○ | ○ | ○ | 適宜、配信機器の更新を実施し、鮮明な映像配信を行っている。町民要望に応え、スマートフォンでの視聴も可能(R元年度からライブも視聴可能)となっている。全道=100議会(議会中継実施) |
| 3. 議会の報告度 | ①議会だより・速報版等の発行 | ○ | ○ | ○ | ○ | 議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。R5.8月発行分から、より詳細な情報を伝えるため記事にQRコードを添付、議会HPとの連動も進めており、R7年度からは議会に町民からの意見をいつでも届けられるようGoogleフォームを活用した意見・質問フォームを開設(QRコード添付)している。全道=単独発行125議会 |
| | ②議会HPの運用 | ○ | ○ | ○ | ○ | H28年3月に議会ホームページをリニューアル。R5年度にはHPの反応速度を上げる為の改修を行った。引き続き、迅速な公開に努める。全道HP=135議会 |

| 主 要 項 目 | 具体的な項目 | R7 評価 | | | 要 点 | |
|-----------|----------------------------------|-------|----|----|-----|--|
| | | R4 | R5 | R6 | | |
| 4. 住民参加度 | ①各種団体との懇談会の開催 (常任委員会の活動) | △ | ○ | △ | ○ | 町内団体の状況について、現状を把握するため懇談会を開催。 R7年度は「少年体育連盟」「町内介護3事業者」と行った。 (懇談会：R5=4回、R6=0回、R7=2回) |
| | ②町民と議員との懇談会の開催(議会報告会) | ○ | ○ | ○ | ○ | R7年度も議員を3班に分け町内会単位で実施した。開催に当たっては、例年、直前に発行する議会だよりを資料に行っており、特にR7年度は、議会改革調査特別委員会で確認した議員定数等について重点的に意見を聴取した。今後も懇談会の内容・開催方法を検討することとしている。(R6=6日間・17会場77人、R7=6日間・16会場76人)全道=59議会 |
| | ③参画者への対応と参加度 | △ | △ | △ | ○ | 参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。 (R6=定例16人、平均4.0人 定例外7人、平均1.4人) (R7=定例26人、平均6.5人 定例外17人、平均2.8人) (全道平均=定例9.6人、定例外1.2人) |
| | ④休日・夜間議会の開催 | ○ | ○ | ○ | ○ | H19 から夜間議会(定例)を開催している。 (参画者 R6=8人、R7=9人) 全道=夜間3議会、休日4議会 |
| 5. 議会の民主度 | ①一般質問の改善(一問一答方式、回数・時間制限廃止) | ○ | ○ | ○ | ○ | 一問一答方式を実施している(H12)。質問回数・時間の制限規定を廃止している(H20)。全道=116議会(一問一答方式採用) |
| | ②説明員との対面方式 | ○ | ○ | ○ | ○ | 庁舎建設時から実施している(H6)。全道=133議会 |
| | ③一般質問の答弁書配付 | ○ | ○ | ○ | ○ | 実施済み(H13.9)。質問に関する的確な(漏れや補足答弁を必要としない)通告書、答弁書となるよう改善に努めている。 |
| | ④議会における選挙の改善(正副議長選挙での所信表明) | ○ | ○ | ○ | ○ | 正副議長選出の際の所信表明を議会基本条例(H20)で規定している。 |
| 6. 議会の監視度 | ①長との適正な関係の維持(議員の政治倫理に関する取り組みの経過) | ○ | ○ | ○ | ○ | 議会議員の不当要求行為等防止条例を制定(H20)、条例内容を拡充した議会議員政治倫理条例を制定(H30)、町長との適正な緊張関係を維持している。 |
| | ②全員協議会の適切な運用 | ○ | ○ | ○ | ○ | 事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。 |
| | ③議会権能の適切な遂行(けん制・批判・監視等) | ○ | ○ | ○ | ○ | 定例会毎に議会運営等に係る反省点等を文書にまとめ、行政側に手交し説明している。常任委員会所管事務調査で取りまとめた調査意見(報告書)を行政側に手交し説明、意見交換することで委員会の意向が政策に反映されている。 |
| | ④一般質問等答弁事項の追跡調査 | ○ | ○ | ○ | ○ | 本会議、予算・決算審査特別委員会での一般質問等に対する町長、副町長、教育長の答弁内容に一定の指定事項を設け、追跡調査を行っている。 令和7年度は指定事項に該当する答弁がなく、新たな追跡調査は無かった。(追跡調査件数 R5=2件、R6=0件、R7=0件) |
| 7. 議会の専門度 | ①所管事務調査の充実強化 | ○ | ○ | ○ | ○ | 常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。委員会の意見が政策に反映されるよう、調査意見(報告書)を行政側に手交し説明、意見交換している。[調査件数 R6=27件、R7=22件] |
| | ②政策立案・審議能力の向上・強化 | ○ | ○ | ○ | ○ | 各常任委員会所管事務調査において、条例の制定・改正、事業計画等の案件について、議会として町民の利益になるような修正意見を提言している。 ①津波避難対策計画・津波避難対策緊急事業計画の策定②原石売払い③認定こども園福島保育所改修事業、④アワビ陸上養殖事業⑤ごみ減量化対策等 令和6年度決算に基づき71件(総務教育常任委関連38件、経済福祉常任委関係33件)の事業について行政評価をした。 |
| | ③議決権範囲の拡大 | ○ | ○ | ○ | ○ | 町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実につながっている。継続的に見直しを行っており現在の議決対象計画等は13件となっている。(令和7年度は新たに追加・削除した議決対象計画等はなし。) |

| 主 要 項 目 | 具体的な項目 | R7 評価 | | | 要 点 | |
|---------------|------------------------|-------|----|----|-----|---|
| | | R4 | R5 | R6 | | |
| 8. 事務局の充実度 | ①議場等の整備充実 | ○ | ○ | ○ | ○ | 議場映像設備(R元)、議場等音響設備(H28)の更新を行うなど、設備の適正管理により映像配信等の精度向上が図られている。タブレット端末の導入(R3)により議案等のペーパーレス化も図られている。 |
| | ②事務局の充実強化 | ○ | ○ | ○ | ○ | 情報公開の迅速化、情報・資料収集の充実、法務能力の向上などに取り組んでいる。職員体制は正職員3人、会計年度任用職員1人で充実している。 |
| 9. 適正な議会機能 | ①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止 | ○ | ○ | ○ | ○ | 法定となっている、都市計画審議会のみ就任している。 |
| | ②適正な議会経費 | ○ | ○ | ○ | ○ | 諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定。令和4年度からはペーパーレス会議システムに係る費用を追加したため、令和5年度に見直している。(当初標準額=3,184千円・R5見直し標準額=6,148千円、R7予算6,391千円) |
| | ③議会の自主性強化(条例等制定・改正) | ○ | ○ | ○ | ○ | 「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。平成21年度より年度を会期(期間)とした「通年議会」を実施している。議会基本条例等の検証と実績の反映を期し、平成30年度に議会関連規定を全体的にわかりやすく改正、新たに2条例・7要綱を制定(議会参画条例・政治倫理条例等) |
| | ④議会付属機関の設置(議会基本条例諮問会議) | ○ | ○ | ○ | ○ | 議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。令和7年度には議員のなり手対策の一環として諮問会議委員の職務に「議会モニター」に関連した内容を追加、公募委員を1名から4名に増員、全体として諮問委員(10名以内)を13名以内とした。 |
| | ⑤系統議長会の体制整備 | ○ | ○ | ○ | ○ | 道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。(資料提供、道内の町村議会へのリンク等) |
| | ⑥条例の制定・改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・議会基本条例諮問会議条例の一部改正(6月、3月会議) 諮問委員の職務として「議会モニター」を明記、公募委員を3名増員する見直しを行った。 ・議会議員歳費・費用弁償等条例の一部改正(12月、3月会議) 期末手当の算定月数を町特別職に合わせて改正。令和8年4月から特別職の給与が改正(増額)されることから、算定方式を基に議員歳費を再算定し見直しを行った。 |
| 10. 研修活動の充実強化 | ①研修の効率的な取組み | ○ | △ | ○ | ○ | 本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会報告をし、情報共有を図っている。R7年度は議員のなり手対策を検討するため先進地である北海道浦幌町への視察研修(政務活動費活用)を行ったほか、西部四町議員協議会で実施した視察研修(北海道神恵内村、赤井川村)・研修会(ふるさと納税)に参加した。 |
| | ②視察受入れ市町村等 | ○ | ○ | ○ | ○ | R7年度に受け入れた視察の数は5件で、岩手県滝沢市議会、北海道厚岸町議会、福島県大熊町議会、秋田県秋田市議会、北海道白老町議会から、議会改革等について視察を受け入れた。(R5=5件、R6=4件、R7=5件) |

📌 議会評価に対する諮問会議意見

議会運営委員会としての評価については特に問題ないと思うが、▲が連続している文書質問の対応については改善策をとり、評価向上するよう努力されたい。

評価概要

「議員活動」の「自己評価」

令和7年度分（令和7年4月～令和8年3月）



議会HP

平成17年から始めた議員の自己評価は、今回で21回目となります。5つの主な指針をもとに具体的に取組んだ事項を「取組の評価」と「成果の評価」としてそれぞれ3段階で自己評価します。

評価の集計結果は下表のとおりで、取組と成果に大きな差があります。

各議員の取組が成果として反映されるように努力する必要があります。

議員個人としての活動については、1名の議員から報告がありました。

● 議員別の評価集計

| 議員名 項目 | 藤山 大 | | 杉村志朗 | |
|------------|------|----|------|----|
| | 取組 | 成果 | 取組 | 成果 |
| ○ ほぼ満足 | 12 | 7 | 1 | 1 |
| △ 努力が必要 | 7 | 9 | 9 | 8 |
| ▲ さらに努力が必要 | 0 | 3 | 1 | 2 |
| 計 | 19 | 19 | 11 | 11 |

| 議員名 項目 | 佐藤孝男 | | 小鹿昭義 | |
|------------|------|----|------|----|
| | 取組 | 成果 | 取組 | 成果 |
| ○ ほぼ満足 | 11 | 6 | 5 | 1 |
| △ 努力が必要 | 2 | 7 | 11 | 11 |
| ▲ さらに努力が必要 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 計 | 13 | 13 | 16 | 16 |

| 議員名 項目 | 平沼昌平 | | 木村 隆 | | 熊野茂夫 | |
|------------|------|----|------|----|------|----|
| | 取組 | 成果 | 取組 | 成果 | 取組 | 成果 |
| ○ ほぼ満足 | 8 | 4 | 6 | 2 | 7 | 6 |
| △ 努力が必要 | 6 | 7 | 6 | 9 | 2 | 3 |
| ▲ さらに努力が必要 | 4 | 7 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 計 | 18 | 18 | 13 | 13 | 9 | 9 |

| 議員名 項目 | 平野隆雄 | | 溝部幸基 | | 合計 | |
|------------|------|----|------|----|-----|-----|
| | 取組 | 成果 | 取組 | 成果 | 取組 | 成果 |
| ○ ほぼ満足 | 9 | 4 | 6 | 2 | 65 | 33 |
| △ 努力が必要 | 6 | 11 | 13 | 11 | 62 | 76 |
| ▲ さらに努力が必要 | 0 | 0 | 15 | 21 | 21 | 39 |
| 計 | 15 | 15 | 34 | 34 | 148 | 148 |

！ 自己評価の指針

| 主要指針 | 評価の指針等 |
|-----------------|---|
| 1. 態度 | 町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度、審議の態度。 |
| 2. 監視 | 一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで行政執行をチェックしたか。 |
| 3. 政策提言 | 町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで政策提言をしたか。 |
| 4. 政策実現 | 一般質問、質疑・意見交換・討議、討論などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。 |
| 5. 自治活動 議会改革 | 議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度、町民ニーズの把握はどうか。 |

※議会での態度：居眠り・私語など、
審議の態度：品位の保持、審議への協力

● 議員個人としての活動

| | 溝部幸基 |
|-------------|------|
| 報告会等の実施 | 2 |
| 議員だよりの発行 | — |
| 個人ホームページの開設 | ○ |

教えて！

ぎかいのコトバ 議員活動の目標(公約)って？

議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議員活動の目標(公約)として公表しています。

今年度は、9名の議員で総数143項目(昨年度：9名提出148項目)となりました。

*個人票はP31～33に掲載しています。

「議員」の評価結果(個人票)

評価の分類: ○=「ほぼ満足」
 △=「努力が必要」
 ▲=「さらに努力が必要」
 評価期間: 令和7年4月～令和8年3月

藤山 大

50歳 議員歴12年 19項目

| 分野 | 具体的な目標項目 | 評価 | |
|-------------|---|----|----|
| | | 取組 | 成果 |
| 行政 | 第2青函トンネル構想推進 | △ | △ |
| | 若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言 | △ | △ |
| | 危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進 | ○ | ▲ |
| 財政 | 災害の備えと整備(避難路・道路等) | ○ | ▲ |
| | 優先順位を持った財政運営の推進 | △ | △ |
| 経済 | 町立診療所運営健全経営推進 | △ | ▲ |
| | 一次産業のさらなる発展への提言 | ○ | △ |
| | 漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言 | ○ | △ |
| 福祉 | 農業者へのやさしい対応と後継者育成 | △ | △ |
| | 町民が安心安全な町づくりとサポート体制 | △ | ○ |
| 教育 | 福島商業高等学校の魅力化 | ○ | ○ |
| | 文化・伝統を後世に残すための取り組み(四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等) | ○ | ○ |
| | 福島の宝である子供のための遊具点検・整備・補修 | ○ | ○ |
| その他 | 今後の「道の駅」のあり方 | △ | △ |
| | 各種行事への積極的な参加 | ○ | ○ |
| | 各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言 | ○ | △ |
| | 松前半島高規格道路整備の推進 | ○ | ○ |
| | 観光客を増やすためのPR(岩部クルーズ・両記念館等) | ○ | △ |
| SNSの活用(PR等) | ○ | ○ | |

杉村 志朗

76歳 議員歴26年 11項目

| 分野 | 具体的な目標項目 | 評価 | |
|-----|---------------------|----|----|
| | | 取組 | 成果 |
| 行政 | 第2青函トンネル構想の活動推進 | △ | △ |
| | 防災対策(避難路の確保) | △ | △ |
| 財政 | 子育て環境の改善努力 | ○ | ○ |
| | 養殖アワビ飼育の安定営業 | △ | △ |
| 経済 | 町立診療所の早期黒字化の努力 | ▲ | ▲ |
| | 農林水産業の担い手支援 | △ | △ |
| 福祉 | 高齢者への財政支援 | △ | △ |
| | 高齢者人口に対する環境整備 | △ | △ |
| 教育 | 少子化による不安の解消と生徒確保の努力 | △ | △ |
| | 小中高一貫性に向けた努力推進 | △ | ▲ |
| その他 | 周辺地域よりも多い観光客誘致に期待 | △ | △ |

佐藤 孝男

78歳 議員歴30年 13項目

| 分野 | 具体的な目標項目 | 評価 | |
|-----|-----------------------------------|----|----|
| | | 取組 | 成果 |
| 行政 | 若者の定住と雇用の場の推進 | ○ | △ |
| | 大型公共施設の健全な運営を注視 | ○ | △ |
| 財政 | 各基金の健全な活用 | ○ | ○ |
| | ほだ木確保のため町有林の調査と作業道の整備 | △ | △ |
| | 陸上養殖アワビの生産拡大に向けた取り組みの推進と、健全な運営を注視 | ○ | ○ |
| 経済 | 一次産業の振興と新規就業者の育成 | ○ | △ |
| | 町立診療所健全運営を注視 | ○ | ○ |
| 福祉 | 家庭ゴミ減量化の取り組み推進 | ○ | △ |
| | 青少年交流センターの健全な運営を注視 | ○ | ○ |
| 教育 | 学校給食での地場産物の利用促進 | ○ | △ |
| | 第2青函トンネル構想実現に向けた活動を推進 | ○ | ○ |
| その他 | 防災道路の早期実現に向けた取り組み推進 | △ | △ |
| | 各種行事の積極的な参加 | ○ | ○ |



■ 小 鹿 昭 義

72歳 議員歴5年 16項目

| 分野 | 具体的な目標項目 | 評価 | |
|-----|--|----|----|
| | | 取組 | 成果 |
| 行政 | 第2青函トンネルの構想実現 | ○ | △ |
| | ヒグマなどの鳥獣被害対策、空家対策への提言 | ○ | △ |
| | 津波対策・防災対策の提言 | ○ | △ |
| 財政 | 財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進 | △ | ▲ |
| | 経費全体についての見直しを行い、適切な予算編成を提言 | △ | △ |
| 経済 | 農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業振興の更なる推進 | △ | △ |
| | 物価高による、景気対策の提言 | ○ | △ |
| | 新卒者や町内外の求職者雇用の場を確保するため、企業誘致を推進 | △ | ▲ |
| 福祉 | 自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進 | △ | △ |
| | お年寄りや身体の不自由な方の要望に応えていく仕組みの確立化を推進 | △ | ▲ |
| | お年寄りを支援する施設や、民間企業への経営支援を推進 | △ | △ |
| 教育 | 子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進 | △ | △ |
| | 小・中学生へパソコン・タブレット端末を使った英会話オンライン（インターネット）授業など、資格取得やグローバル化に向けた学習の提言 | △ | △ |
| | グローバル化に向けた低学年向けへのやさしい英会話教育の場の提言 | △ | ▲ |
| その他 | 家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進 | △ | △ |
| | 町議、町職員と共に話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を町民の目線に立ちながら見極め、課題に取り組む | ○ | ○ |



■ 木 村 隆

45歳 議員歴18年 13項目

| 分野 | 具体的な目標項目 | 評価 | |
|-----|--------------------|----|----|
| | | 取組 | 成果 |
| 行政 | 新半島振興法に伴う防災政策のあり方 | △ | ▲ |
| | 津波防災政策の提言 | ○ | ○ |
| | 解体予定の公共施設のあり方 | ○ | △ |
| 財政 | 養殖あわび施策のこれから | ○ | △ |
| | 雇用の場の創出 | ▲ | ▲ |
| | 脱炭素政策のあり方 | ○ | △ |
| 福祉 | 保育園改修の注視 | ○ | △ |
| 教育 | 高校存続のこれから | △ | △ |
| | 新しいiPadの利活用 | △ | △ |
| | 義務教育学校への走り出し | ○ | ○ |
| その他 | 第2青函トンネル構想の推進 | △ | △ |
| | 松前半島防災道路（福島～白神）の注視 | △ | △ |
| | 広域議員として消防、衛生への政策質問 | △ | △ |

■ 平 沼 昌 平

69歳 議員歴20年 18項目

| 分野 | 具体的な目標項目 | 評価 | |
|-----|--|----|----|
| | | 取組 | 成果 |
| 行政 | 町内のDX環境の整備と施設整備について提言 | ▲ | ▲ |
| | 海溝型地震に向けての津波対策と防災意識向上と自助・互助・共助・公助の在り方の提言 | △ | △ |
| | 物価高騰に対する町民サービスの充実について提言 | △ | ○ |
| 財政 | 財政健全化を柱とした計画的なインフラ整備について提言 | ○ | ○ |
| | 出産費用の無償化と出産後1年間の生活費補助の提言 | △ | ▲ |
| | 農林水産業の担い手確保と雇用環境充実に向けた提言 | ▲ | ▲ |
| 経済 | 将来を見据えた養殖昆布作業省力化に向けた提言 | ▲ | ▲ |
| | 気候変動に伴う新たな産業の創出と模索について提言 | ▲ | △ |
| | 物価高騰に対する福祉灯油券の配布と拡充について提言 | △ | △ |
| 福祉 | ゴミ減量化と資源ゴミの町民の理解と意識の向上に努める | △ | △ |
| | 高齢者住宅の拡充とコンパクトシティの在り方について提言 | ○ | △ |
| | 町関連各同系列の団体の集約と会議内容の集約等提言 | ○ | ▲ |
| 教育 | 高校卒業生の町内就職の財政支援と環境整備の提言 | △ | ▲ |
| | 中・高校生に対するの議会との接点と交流促進の提言 | ○ | ○ |
| | 議会議員の成り手対策と定数の在り方について | ○ | ▲ |
| その他 | 議会活動に対する町民理解度向上のため、懇談の機会を拡充する | ○ | △ |
| | 議会だよりの充実と町民に対する積極的な議会活動の周知 | ○ | △ |
| | 議会開催時の参画者に対する声掛けと参加者の拡充 | ○ | ○ |

熊野茂夫

75歳 議員歴10年 9項目

| 分野 | 具体的な目標項目 | 評価 | |
|----|--|----|----|
| | | 取組 | 成果 |
| 行政 | 地域生活環境整備への提言をいたします。 | ○ | ○ |
| | 地域防災計画、津波避難計画をすすめます。 | ○ | ○ |
| 財政 | 健全で持続可能な財政運営への提言をいたします。 | ○ | ○ |
| 経済 | 水産業の発展と漁家経営安定のための提言をいたします。 | △ | △ |
| | 農林業発展への提言をいたします。 | ○ | △ |
| 福祉 | 施設介護・訪問介護サービス安定のための提言をいたします。 | ○ | ○ |
| | 社会福祉協議会経営安定のための活動をいたします。 | △ | △ |
| 教育 | こども園、小中学校の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言をいたします。 | ○ | ○ |
| | 福島商業高等学校魅力化と存続のための活動をいたします。 | ○ | ○ |

平野隆雄

76歳 議員歴29年 15項目

| 分野 | 具体的な目標項目 | 評価 | |
|-----|--------------------------|----|----|
| | | 取組 | 成果 |
| 行政 | 第2青函トンネル構想実現推進 | ○ | △ |
| 財政 | ふるさと応援基金の有効活用の提言 | ○ | ○ |
| | 町立診療所の健全経営の実現 | △ | △ |
| | 旧改善センター、旧吉岡支所等の早期解体の実現 | △ | △ |
| 経済 | 養殖コンブ製品増の推進 | ○ | ○ |
| | スルメ以外の商品開発推進 | △ | △ |
| | エゾアワビの稚貝確保に向けた施策を全力で推進 | △ | △ |
| 福祉 | 超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言 | ○ | △ |
| | 吉岡温泉ゆとらぎ館の活用で健康増進へ向けた提言 | ○ | ○ |
| 教育 | 少子化の中の教育行政推進 | ○ | ○ |
| | 縄文土器によるまちづくり提言 | △ | △ |
| | 青少年交流センターを活用した取り組みへの提言 | ○ | △ |
| その他 | 吉岡、荒谷新ルート防災道路の推進 | ○ | △ |
| | 岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進 | ○ | △ |
| | 両記念館と伊能忠敬公園の観光客に向けたPRの推進 | △ | △ |

溝部幸基

77歳 議員歴44年 34項目

| 分野 | 具体的な目標項目 | 評価 | | |
|----------------------|------------------------------------|-----------------------------------|----|---|
| | | 取組 | 成果 | |
| 行政 | 「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進(各種計画の提言・検証) | △ | ▲ | |
| | 自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査 | ▲ | ▲ | |
| | 行政サービスの効率的な運営への提言(外部委託・時間差出勤・研修等) | ▲ | ▲ | |
| | 防災対策の提言(災害弱者・訓練・冬季対策等:危機管理に関する研修) | △ | ▲ | |
| | 過疎自治体における政策推進のあり方(住宅セーフティネット、居住支援) | △ | ▲ | |
| | 浄化槽(下水道整備)の普及推進 | △ | ▲ | |
| | 第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進 | ○ | △ | |
| | ハラスメント条例の制定に向けた調査研究 | ○ | △ | |
| | 財政 | 財政健全化への取組(予算・決算審査・行政評価充実:基金の有効活用) | △ | △ |
| | | 退職手当制度の抜本的改善 | ▲ | ▲ |
| 各団体等への補助金、事業助成金等の在り方 | | ▲ | ▲ | |
| 経済 | 新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設 | ▲ | ▲ | |
| | 異業種連携による「福島ブランド」の開発(ブランド化システムの再検討) | ▲ | ▲ | |
| | 地場産品の6次産業化に関する調査研修 | ▲ | ▲ | |
| | 産業団体と課題に取組む産業公团的仕組みづくりの調査研修 | ▲ | ▲ | |
| | 地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修 | ▲ | ▲ | |
| 福祉 | 過疎自治体における超高齢化対策に関する調査 | ▲ | ▲ | |
| | 「健康な町づくり(全町的な取り組み)で医療費の節減 | △ | ▲ | |
| | 公立診療所の在り方に関する調査研修 | ▲ | ▲ | |
| | 在宅介護支援体制の整備(社会福祉協議会の役割・ケアラー支援制度等) | △ | ▲ | |
| | 労働者協同組合に関する調査研究(活動事例、行政連携等) | ▲ | ▲ | |
| | 家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修 | △ | ▲ | |
| 教育 | 小中学校一貫教育、コミュニティスクールに関する調査研修 | ▲ | △ | |
| | 過疎自治体における高等教育推進に関する調査 | △ | △ | |
| | 「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修) | ▲ | ▲ | |
| | 「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動推進 | ▲ | ▲ | |
| | 食育・地産地消の推進(「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修) | △ | △ | |
| その他 | わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現(議会基本条例の周知) | ○ | △ | |
| | 活発な討議(討論)ができる議会の実現 | ○ | △ | |
| | 政策的な提案のできる議会の実現 | △ | △ | |
| | 幅広い情報収集、積極的な研修参加 | △ | △ | |
| | 視察の積極的な受け入れ(岩手県滝沢市・福島県大熊町・白老町・厚岸町) | ○ | ○ | |
| | ホームページの充実(提案、情報発信、参加型) | △ | △ | |
| | 各種行事への積極的な参加 | ○ | ○ | |

「議員」の目標（公約）

目標期間：令和8年4月～令和9年3月

今年1年
こんな事を頑張ります！

藤山 大

51歳 議員歴13年 21項目

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|---------------------|---|
| 行政 | 第2青函トンネル構想推進 |
| | 若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言 |
| | 危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進 |
| | 災害の備えと整備（避難路・道路等） |
| 財政 | 働きやすい環境整備（主にクーラー） |
| | 優先順位を持った財政運営の推進 |
| 経済 | 町立診療所運営健全経営推進 |
| | 一次産業のさらなる発展への提言 |
| | 漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言 |
| 福祉 | 農業者へのやさしい対応と後継者育成 |
| | 物価高騰による町内還元対策 |
| 教育 | 町民が安心安全な町づくりとサポート体制 |
| | 福島商業高等学校の魅力化 |
| その他 | 文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等） |
| | 今後の「道の駅」のあり方 |
| | 各種行事への積極的な参加 |
| | 各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言 |
| | 松前半島高規格道路整備の推進 |
| | 観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等） |
| | SNSの活用（PR等） |
| 暑さ対策の推進（各分野のクーラー整備） | |

杉村 志朗

77歳 議員歴27年 11項目

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|------------------|
| 行政 | 第2青函トンネル構想の実現 |
| | 防災対策（津波避難路の確保） |
| 財政 | 財政健全化に関する町民への周知 |
| | 町立診療所運営黒字化への努力 |
| 経済 | 物価高による経済支援 |
| | 各地場産業への更なる支援 |
| 福祉 | ゴミ減量化に対し町民への理解促進 |
| | 高齢者独居世帯の冬の雪下ろし援助 |
| 教育 | 少子化による小中一貫校の実現 |
| | 高校新卒者の町内求職者への援助 |
| その他 | 各種行事に積極的に参加 |

佐藤 孝男

79歳 議員歴31年 12項目

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|----------------------------------|
| 行政 | 第2青函トンネル構想の活動推進 |
| | 防災対策の提言（訓練、冬期間） |
| 財政 | 各財政基金の健全な運用 |
| | 昆布養殖省力化に向けた取り組みを推進 |
| 経済 | 陸上養殖アワビ生産拡大に向けた取り組みの推進と、健全な運営を注視 |
| | 家庭ごみの減量化に向けた取り組みを推進 |
| 福祉 | 町立診療所の経営健全化に向けた取り組みを注視 |
| | 小中一貫校に向けての調査 |
| 教育 | 青少年交流センターの健全な運営を注視 |
| | 防災道路早期実現に向けた取り組みを推進 |
| その他 | 町内各団体等との意見交換の実施 |
| | 各種行事等への積極的な参加 |



小鹿 昭 義

73歳 議員歴6年 16項目

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|---|
| 行政 | 第2青函トンネルの構想実現 |
| | ヒグマなどの鳥獣被害対策、空家対策への提言 |
| | 津波対策・防災対策の提言 |
| 財政 | 財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進 |
| | 経費全体についての見直しを行い、適切な予算編成を提言 |
| 経済 | 農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業振興の更なる推進 |
| | 物価高による、景気対策の提言（ナフサの供給が不安定になり日本の経済が悪くなるのではないかと懸念。） |
| | 新卒者や町内外の求職者雇用の場を確保するため、企業誘致を推進 |
| 福祉 | 自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光事業の推進 |
| | お年寄りや身体の不自由な方の要望に応えていく仕組みの確立化を推進 |
| | お年寄りを支援する施設や、民間企業への経営支援を推進 |
| 教育 | 子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進 |
| | 防犯カメラの設置など、子ども達が安心安全に登校できる環境を推進 |
| | グローバル化に向けた低学年向けへのやさしい英会話教育の場の提言 |
| その他 | 家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進 |
| その他 | 町議、町職員と共に話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を町民の目線に立ちながら見極め、課題に取り組む |

平 沼 昌 平

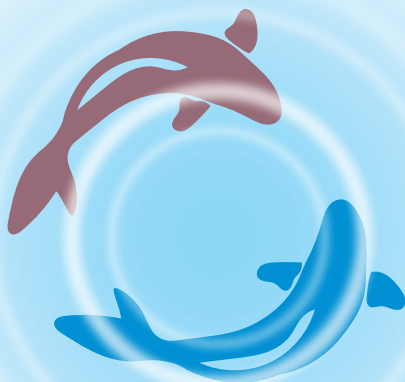
70歳 議員歴21年 15項目

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|--|
| 行政 | 防災意識の向上と自助・共助・互助・公助の提言 |
| | 物価高騰に対する町民サービスの充実 |
| | 職員の専門性を高めるための行政効率アップと民間委託の提言 |
| 財政 | 主要産業（漁業・農業・観光・介護）の生産性向上支援（ICT導入、設備更新補助、販路拡大支援） |
| | 維持管理コストの見える化による町民説明（町民に説明できる資料を整備し、合意形成を進める） |
| 経済 | 地域産業の生産性向上に向けた取組 |
| 福祉 | 企業版ふるさと納税を活用したプロジェクト創出（環境・観光・福祉など、企業が投資しやすいテーマで提言） |
| | ゴミ減量化と資源ゴミの町民の理解と意識の向上に努める |
| 教育 | 介護事業の将来の取組と方向性に対しての提言 |
| その他 | 効率的な良い義務教育環境の在り方について提言 |
| | 公的施設の民間委託について教育現場の負担軽減の提案 |
| | 地域コミュニティの再生と住民参加の強化 |
| その他 | デジタル化（DX）による行政・地域の効率化 |
| その他 | 防災・減災の強化（特に高齢化地域の支援体制） |
| その他 | 移住・定住促進（人口減少対策）の支援と地域の魅力発信 |

木 村 隆

46歳 議員歴19年 12項目

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|--------------------|
| 行政 | 脱炭素計画に伴う助成政策のあり方 |
| | 津波防災政策の具体的なフォローアップ |
| | 新半島振興法に伴う政策 |
| 経済 | 陸上アワビの新たな養殖試験の注視 |
| | 環境譲与税に伴う林務政策 |
| 教育 | 減容化施設の運用のあり方 |
| | 義務教育学校へのアプローチ |
| | 高校魅力化の推進 |
| その他 | 人材育成補助金のあり方 |
| | 次期改選に向けた立候補者を探す |
| | 第2青函トンネル構想の推進 |
| その他 | 世界情勢に伴う物価高対策 |



熊野茂夫

76歳 議員歴11年 8項目

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|----|--|
| 行政 | 生活環境整備への提言をいたします。 |
| | 災害時の対応について提言をいたします。 |
| 財政 | 健全で持続可能な財政運営への提言をいたします。 |
| 経済 | 漁家経営の安定のための水産業施策の提言をいたします。 |
| | 農林業発展のための施策提言をいたします。 |
| 福祉 | 今後の施設介護、訪問介護の在り方についての提言をいたします。 |
| 教育 | こども園、義務教育課程の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言をいたします。 |
| | 「義務教育学校」設立への支援活動をいたします。 |

平野隆雄

77歳 議員歴30年 15項目

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|--------------------------|
| 行政 | 第2青函トンネル構想実現推進 |
| 財政 | ふるさと応援基金の有効活用への提言 |
| | 町立診療所の健全経営の実現 |
| | 旧改善センター等の早期解体の実現 |
| 経済 | 養殖コンブ製品増の推進 |
| | えぞあわび（養殖）生産増へ向けた提言 |
| | スルメ以外の商品開発推進 |
| 福祉 | 超高齢化と超人口減少に対する町づくり提言 |
| | 吉岡温泉ゆとらぎ館の活用で健康増進の提言 |
| 教育 | 少子化の中の教育行政推進 |
| | 縄文土器等による町づくり提言 |
| | 青少年交流センターを活用した取組提言 |
| その他 | 吉岡、荒谷（松前）新ルート防災道路の推進 |
| | 岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進 |
| | 両記念館と伊能忠敬公園の観光客に向けたPRの推進 |

溝部幸基

78歳 議員歴45年 33項目

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|-------------------------------------|
| 行政 | 「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画の提言・検証） |
| | 自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査 |
| | 行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等） |
| | 防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修） |
| | 過疎自治体における政策推進のあり方（住宅セーフティネット、居住支援） |
| | 浄化槽（下水道整備）の普及推進 |
| | 第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進 |
| | ハラスメント条例の制定に向けた調査研究 |
| | 財政健全化への取組（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用） |
| | 退職手当制度の抜本的改善 |
| 経済 | 各団体等への補助金、事業助成金等の在り方 |
| | 新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設 |
| | 異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討） |
| | 地場産品の6次産業化に関する調査研修 |
| | 産業団体と課題に取り組む産業公社の仕組みづくりの調査研修 |
| | 地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修 |
| | 過疎自治体における超高齢化対策に関する調査 |
| | 「健康な町づくり」（全町的な取り組み）で医療費の節減 |
| | 公立診療所の在り方に関する調査研修 |
| | 在宅介護支援体制の整備（社会福祉協議会の役割・ケアラー支援制度等） |
| 福祉 | 家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修 |
| | 義務教育学校に関する調査研修 |
| | 過疎自治体における高等教育推進に関する調査 |
| | 「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集・研修） |
| | 「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進 |
| | 食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修） |
| | わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現（議会基本条例の周知） |
| | 活発な討議（討論）ができる議会の実現 |
| | 政策的な提案のできる議会の実現 |
| | 幅広い情報収集、積極的な研修参加 |
| その他 | 視察の積極的な受け入れ |
| | ホームページの充実（提案、情報発信、参加型） |
| | 各種行事への積極的な参加 |



会議等出席状況

会議や議会へ通知があった行事等の1月21日から5月18日までの出席状況をお知らせします。

「○」は出席、「×」は欠席、「―」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

| 年月日 | 会 議 ・ 行 事 名 | 藤山 | 杉村 | 佐藤 | 小鹿 | 平沼 | 木村 | 熊野 | 平野 | 溝部 |
|-------|--------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1/21 | 渡島西部四町議会議員連絡協議会令和7年度第2回理事会 | ○ | ― | ― | ― | ○ | ― | ― | × | ○ |
| 22 | 渡島町村議会議長会定期総会 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ○ |
| 27 | 総務教育常任委員会（避難計画、町立学校） | ○ | ○ | ◎ | ― | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 町内会連合会総会 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ○ |
| | 経済福祉常任委員会意見書手交（木質チップ） | ― | ― | ○ | ― | ― | ― | ― | ○ | ○ |
| 30 | 広報広聴常任委員会意見書手交（介護事業所との懇談会） | ― | ― | ○ | ― | ― | ― | ― | ○ | ○ |
| | 建設協会新年交礼会 | ○ | ― | ○ | ○ | ○ | ― | ― | ○ | ○ |
| 2/3 | 町民と議員との懇談会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4 | 町民と議員との懇談会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 | 町民と議員との懇談会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6 | 町民と議員との懇談会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 9 | 町民と議員との懇談会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 10 | 町民と議員との懇談会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 12 | 経済福祉常任委員会（国保、介護、診療所） | ― | ― | ○ | ○ | ○ | ― | ◎ | ○ | ○ |
| | 富原亮道議新春の集い（函館市） | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ○ |
| | 議会運営委員会（定例会2月会議の運営） | ○ | ― | ○ | ― | ○ | ○ | ○ | 職 | 職 |
| 13 | 定例会2月会議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議会運営委員会（定例会2月会議の反省） | ○ | ― | ○ | ― | ○ | ○ | ○ | 職 | 職 |
| | スポーツ文化賞表彰式 | ○ | ― | ― | ○ | ― | ― | ― | ― | ○ |
| 16 | 渡島廃棄物処理広域連合議会運営委員会（北斗市） | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ○ | ― |
| 17 | 渡島西部四町議会議員連絡協議会総会・研修会（松前町） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 18 | 福島町農業協同組合総会 | ― | ― | ○ | ― | ― | ― | ― | ― | ○ |
| 20 | 福島町森林組合通常総会 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ○ | × |
| 26 | 渡島廃棄物処理広域連合議会第1回定例会（北斗市） | ― | ― | ― | ― | ○ | ― | ― | ○ | ― |
| | 総務教育常任委員会（定例会3月会議以降の所管事務） | ○ | ○ | ― | ― | ― | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 27 | 経済福祉常任委員会（定例会3月会議以降の所管事務） | ― | ― | ○ | ○ | ○ | ― | ― | ○ | ○ |
| | 議会改革調査特別委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 職 |
| | 渡島西部広域事務組合議会第1回定例会 | ― | ― | ○ | ― | ― | ○ | ― | ― | ○ |
| 3/1 | 福島商業高等学校卒業式 | ○ | ― | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ― | ○ |
| | 正副議長議案説明 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ○ | ○ |
| | 広報広聴常任委員会報告書手交（町民と議員との懇談会） | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ○ | ○ |
| 3 | 一般質問通告通告 | ○ | ― | ― | ― | ○ | ○ | ○ | ― | 職 |
| | 議会運営委員会（定例会3月会議の運営） | ○ | ― | × | ― | ○ | ○ | ○ | △ | 職 |
| 6 | 議員勉強会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ |
| | 第2青函トンネル建設プロジェクト推進議員連盟勉強会（東京都） | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ○ |
| 10 | 定例会3月会議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ |
| 11~12 | 予算審査特別委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 職 |
| 12 | 定例会3月会議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ |
| | 議会運営委員会（定例会3月会議の反省） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 職 |
| 13 | 福島中学校卒業式 | ○ | ― | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ― | ○ |
| 18 | 福島小学校卒業式 | ○ | ― | ○ | ― | ― | ― | ○ | ○ | ― |
| | 吉岡小学校卒業式 | ― | ― | ― | ○ | ○ | ○ | ― | ― | ○ |
| 19 | 福島幼稚園卒園式 | ○ | ― | ○ | ― | ― | ― | ― | ― | ○ |
| 22 | 長崎県松浦市合併20周年記念式典 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ○ |
| 25 | 福島保育所卒園式 | ○ | ― | ○ | ○ | ― | ○ | ― | ― | ○ |
| | 議会運営委員会（定例会3月第2回会議の運営） | ○ | ― | ○ | ― | × | ○ | ○ | 職 | 職 |
| 26 | 定例会3月第2回会議 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議会運営委員会（定例会3月第2回会議の反省） | ○ | ― | ○ | ― | × | ○ | ○ | 職 | 職 |
| 30 | 福島吉岡漁業協同組合令和8年度通常総会 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ○ |
| 4/6 | 福島保育所入園式 | ― | ― | ○ | ○ | ― | ○ | ― | ― | ○ |
| 7 | 交通安全祈願祭・町民大会 | ― | ― | ― | ― | ○ | ― | ― | ― | ○ |
| | 吉岡小学校入学式 | ― | ― | ― | ― | ○ | ○ | ― | ― | ― |
| 8 | 福島小学校入学式 | ― | ― | ○ | ○ | ― | ― | ○ | ○ | ○ |
| | 福島中学校入学式 | ― | ― | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 福島商業高等学校入学式 | ― | ― | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ― | ○ |
| | 長野県木曾町と北海道福島町との意見交換会 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ○ | ○ |

| 年月日 | 会 議 ・ 行 事 名 | 藤山 | 杉村 | 佐藤 | 小鹿 | 平沼 | 木村 | 熊野 | 平野 | 溝部 |
|-------|-----------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 10 | 福島幼稚園入園式 | ○ | — | ○ | — | — | — | — | — | ○ |
| 16 | 道南林活役員会（厚沢部町） | — | — | × | — | — | — | ○ | — | — |
| 19-20 | 北海道福島会（東京都） | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ |
| 21 | 福島町相撲協会総会 | — | — | — | — | — | — | — | ○ | — |
| 23 | 福島町商工会・観光協会より要望書提出 | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ |
| | 林野火災予消防対策協議会 | — | — | ○ | — | ○ | — | — | — | ○ |
| | 森づくり協議会総会 | — | — | ○ | — | — | — | — | — | — |
| 24 | 道南林活総会研修会（北斗市） | ○ | — | ○ | ○ | — | ○ | ○ | — | — |
| | 渡島西部四町議会議員連絡協議会理事会（木古内町） | ○ | — | — | — | ○ | — | — | ○ | ○ |
| | 議会運営委員会（議会評価） | ○ | — | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 職 | 職 |
| 27 | 商工会青年部総会 | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ |
| | 議会運営委員会（定例会4月会議の運営） | ○ | — | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 職 | 職 |
| | 定例会4月会議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5/8 | 総務教育常任委員会（義務教育学校） | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 議会運営委員会（定例会4月会議の反省） | ○ | — | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 職 | 職 |
| | 渡島総合開発期成会役員会（函館市） | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ |
| 8 | 渡島町村議会議長役員会（函館市） | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ |
| | 福島吉岡漁業協同組合より要望書提出 | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ |
| 9 | 町民植樹祭 | — | — | ○ | ○ | ○ | — | ○ | — | — |
| | SUMOシンポジウム in 福島町 | ○ | — | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ |
| 10 | 女だけの相撲大会 | — | — | — | — | ○ | — | — | ○ | ○ |
| 13 | 第1回議会基本条例諮問会議 | ○ | — | — | — | ○ | — | — | ○ | ○ |
| 14 | 商工会総会 | ○ | — | ○ | — | — | — | — | — | ○ |
| 15 | 渡島西部広域事務組合議会第1回臨時会 | — | — | ○ | — | — | ○ | — | — | ○ |
| 16 | 渡島西部四町議会議員連絡協議会スポーツ大会（木古内町） | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| 17 | 衆議院議員向山じゅんとつくる未来フォーラム（函館市） | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ |
| 18 | 議会運営委員会（議会だより） | ○ | — | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 職 | 職 |

全国町村議会議長会による 議員表彰



全国町村議会議長会より自治功労者として杉村議員が表彰され、定例会3月会議開始前に、溝部議長より表彰状が伝達されました。（27年以上にわたり、町議会議員として地方行政振興に寄与したことによる。）

議会HPで配信や資料を 見てみませんか？

議会HPにて各会議の生配信や、過去の会議資料・映像をご覧いただけます。なお、議会だよりの二次元バーコードをスマホ等で読み取り、HPの関係ページをご覧いただくこともできます。

■ : <https://www.town.fukushima.hokkaido.jp/gikai/>

✉ : gikai@town.fukushima.hokkaido.jp

☎ : 0139-47-2215



議会HPへの
二次元バーコード

議会図書室で資料を 見てみませんか？

議会図書室には過去の議事録や会議資料、議会だよりが保管されています。どなたでも自由に閲覧できますので、役場3階へお気軽にお越しください。



議会図書室

町民の声

夜間議会を見学して



福島商業高等学校
2年 千嶋 優芽

3月10日にあった夜間議会に参加させていただきました。初めて入った町役場3階の会議室は裁判所のように緊張しました。議会では、災害時の道路状況など町民に直接関係のあることから、第2青函トンネルという国家に関わることまで様々な議案についての質疑応答が行われていました。ただ聞いているだけでも議員の皆さんが町民のことを考え、福島町の未来についてどれだけ考えているのかが伝わってきました。

今回の議会を聞いて福島町の課題や福島町がやりたいことを少し理解できた気がしたので、今後は福島町でなにか政策が行われたときに、議会とどう繋がっているのか考え、議員のみならずがどのよう動いているのか想像してみようと思います。

議員の雑感

我が町の宝



経済福祉常任委員長
佐藤 孝男

3月8日、福島小学校の入学式に出席させていただきました。今年度は、福島小学校、吉岡小学校合わせて14名が入学されました。あらためておめでとうございます。

これからの学校生活では、楽しいことがたくさんあると思います。その一つが給食ではないでしょうか。級友たちと楽しく過ごした時間は、大切な思い出として心に残ることでしょう。

当町は国より早く給食費無償化を実施しております。ただ、今の中東情勢の悪化に伴う物価急騰による影響も懸念されています。

給食は農業、漁業の重要性を幅広く学ぶ「生きた教材」です。子供たちのために給食センターの調理員さんも工夫を凝らしています。おいしい給食を食べ、福島町の子供たちが健やかに育ってほしいと願っています。

主な会議・行事予定

6月

● 北海道町村議会議長会総会・研修会

9日(火)

札幌市

● 渡島町村議会議長会臨時総会

9日(火)

札幌市

● 一般質問通告

11日(木)

午後10時～午後2時

● 議会運営委員会(6月会議の運営)

11日(木)

午後3時 委員会室

● 議員勉強会

16日(火)

午後1時30分～ 議員控室

● 定例会6月会議

18日(木)

午前10時～ 議会議場

● 渡島総合開発期成会札幌要望

25日(木)

札幌市

● 札幌福島会

27日(土)

札幌市

7月

● 全道町村議会議員研修会

2日(木)

札幌市

● 議会運営委員会(議会だより)

17日(金)

午後1時30分～ 議員控室

● 渡島西部四町議会議員連絡協議会視察研修

29日(水)～31日(金)

苦小牧市ほか

編集後記

例年よりも早く桜の便りが届き、あつという間に季節が移り変わってきていきます。

さて、議会では議場で行われる会議や委員会のライブ配信を行っています。配信方法はYouTubeによるライブ配信に更新する予定です。これまで以上に手軽に、安定して映像をお届けできるものと思っております。

議会に対するご意見やお気づきの点がありましたら、お気軽に議員や事務局にお寄せください。意見・質問フォームは時間や曜日に関わらず利用できます。ぜひ、ご利用ください。

今年も暑さが厳しくなる予報が出ています。水分・塩分の補給や適切な冷房の活用など、熱中症には十分気をつけてお過ごしください。

8月発行の「議会だよりふくしま」では、定例会6月会議を中心に紹介する予定です。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」